

出張報告書

令和  年 6 月 10 日

会派名 志誠会
会長 立崎 聡一 様

出張者氏名 近藤 憲治 

下記のとおり出張したので報告します。

記

出張期間	令和1年6月6日(木) ～ 令和1年6月9日(日) [4日間]						
出張概要	①	月日	6月7日	市町村名	大韓民国 蔚山	会場	蔚山広域市南区 各地
		目的	クジラ文化を活かした地域活性化				
		テーマ	・蔚山クジラ祭り視察 ・蔚山広域市南区が取り組むクジラ文化の継承				
	②	月日	6月8日	市町村名	大韓民国 蔚山	会場	蔚山広域市南区 各地
		目的	クジラ文化を活かした地域活性化				
		テーマ	・蔚山クジラ祭り視察 ・蔚山広域市南区が取り組むクジラ文化の継承				
	③	月日		市町村名		会場	
		目的	移動日				
		テーマ					
	④	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
所見	別紙のとおり						
備考							

※所見については、別紙(任意様式)で作成して下さい。

クジラ文化を活かした活性化（韓国・蔚山）

2012年に網走市と友好パートナーシップ協定を締結した韓国・蔚山広域市南区の恒例行事「クジラ祭り」への出席を通じて、クジラ文化を活かした地域活性化の在り方を調査した。蔚山広域市は日本海に面した港湾都市であり、現在は現代グループの造船工場、自動車工場、SKグループの大規模石油コンビナートなどが林立する大工業地帯となっている。蔚山広域市南区の長生浦地区は、日本の植民地政策下において近代捕鯨の基地として機能したほか、先史時代から蔚山一帯では鯨を捕獲していた壁画も残っていることから、南区はクジラ文化を当地独自のコンテンツとして地域活性化の素材として活用している。クジラ博物館や近代捕鯨華やかなりし頃の街並みを再現したテーマパークなどの施設整備のほか、ホエールウォッチングが出来る大型観光船の導入など民間活力を背景に大規模な投資を行っている。年に1度、クジラをテーマにした総合イベントとして実施されているのが「蔚山クジラ祭り」である。4日間で20万人以上の来場者が押し寄せ、クジラ料理の屋台が並び、ステージではクジラをキーワードとした芸術舞台が繰り広げられる。一方で、市民参加を積極的に促しており、子どもからお年寄りが準備を重ねた出し物も多彩だ。当地の区議会議員の皆さんとも意見交換する機会を得たが、皆さん一様に鯨を地域のアイデンティティとして認識されている点が印象的だった。また、鯨を切り口に、山口県下関市、和歌山県太地町、熊本県熊本市、長崎県五島市など捕鯨文化を有する各地域と民間レベル、自治体レベルの交流を重ねている点も特筆すべき点である。翻って、捕鯨基地として、今も小型沿岸捕鯨や商業捕鯨を行っている当市のクジラ文化に対しての市民の認識はどうだろうか、と省みた次第だ。地域の特徴は磨かなければ活かされていかない。磨くためには官民が一体となった、ダイナミックで継続的な取り組みが必要であることを再認識する南区訪問だった。